

令和4年度 社会科 授業改善推進プラン

大田区立馬込第三小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・発表することを積極的に取り入れることで、思考を深める学習となった。
- ・昨年度と同様、教科書を使って調べ、ノートにまとめる活動を取り入れることで、すすんで学習に取り組む児童が増えた。

(2) 課題

- ・体験的な学びの時間を確保すること。
- ・感染拡大を防止する観点から、児童同士が直接的に関わり合うことは難しいが、感染予防しながらグループでの学び合いを工夫すること。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和4年度結果	令和3年度結果	令和2年度結果
第4学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・達成率は、7割を上回っている。</li> <li>・3観点全てにおいて目標値を上回っている。</li> </ul>		
第5学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・達成率は、7割を上回っている。</li> <li>・思考・判断・表現の分野と主体的に学習に取り組む態度の分野において目標値を若干下回っている。</li> </ul>	(第4学年時) <ul style="list-style-type: none"> <li>・達成率は、8割である。</li> <li>・3観点全てにおいて、目標値を上回っている。</li> </ul>	
第6学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・達成率は、6割を下回っている。</li> <li>・3観点全てにおいて目標値を下回っている。</li> </ul>	(第5学年時) <ul style="list-style-type: none"> <li>・達成率は、7割である。</li> <li>・観点別において、思考・判断・表現において目標値を下回っている。</li> <li>・知識・技能は、目標値を上回っている。</li> </ul>	(第4学年時) <ul style="list-style-type: none"> <li>・達成率は、7割弱である。</li> <li>・観点別において、知識・理解が目標値を下回っている。他の観点は目標値を上回っている。</li> </ul>

(2) 分析（観点別）

① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市役所の地図記号に関する出題のみ、目標値を下回った。その他の設問においては概ね目標値を上回っている。特に工場や警察の仕事に関する設問に関して目標値を大きく上回った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どの設問でも目標値を上回っている。記述の設問に関しては目標値を上回っているものの、無回答の割合も全体の25%を占めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どの設問でも目標値を上回っている。記述の設問に関しては左記の通りである。</li> </ul>

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内正答率は5年生が目標値を上回り、6年生は目標値を下回っている。</li> <li>・5年生は、どの領域においても目標値付近の正答率であるが、地図や資料の読み取り方に関する設問では若干目標値を下回っている。</li> <li>・6年生は、様々な領域で目標値を下回っているが、特に地理の「位置」に関する理解に苦手がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内正答率は、目標値をどちらの学年も下回っている。</li> <li>・5年生は、どの領域においても目標値付近の正答率である。</li> <li>・6年生は、資料に着目して読み取る設問に対して苦手がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内正答率は目標値をどちらの学年も下回っている。</li> <li>・5年生は、どの領域においても目標値付近の正答率である。</li> <li>・6年生は、資料に着目して読み取る設問に対して苦手がある。</li> </ul>

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

生活科の授業が設定されている。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地図記号や都道府県の位置や特色を知る学習をかるたやカードを活用した上で、定期的にテストを実施し、基礎的な知識の定着を図る。</li> <li>・グラフや分布図を読み取ったあと、事実を関連付ける、因果関係を押さえるなどして、身に付けた知識や技能を結びつける学習を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事の内容とその目的を関連付けるなど、深く考えさせる活動を取り入れる。</li> <li>・新聞作りやパンフレット作りなど、個人で考えを深め、選択し、それを表現するような活動を引き続き多く取り入れる。また、その活動に関して教師が一人一人に丁寧にフォローを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的な学習を展開できるよう、ゲストティーチャーによる講演を取り入れる。</li> <li>・自分たちの生活を振り返り、自分事としてとらえ、自分たちは何ができるのかを選択・判断することを通して、主体的に関わっていく態度を養う。</li> </ul>

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールタクトに地名や用語をあてはめる問題を作っておき、隙間時間に取り組めるようにする。</li> <li>・地図帳を使って、地名を調べる活動を授業開始時に行い、索引の使い方を身に付けるとともに、地図に慣れ親しむ。</li> <li>・知識が定着しているかどうかをテストやプリントなどを利用して確認する時間を設ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1人1台のタブレットがあることを活かし、不明な点や気になる点をインターネットで調べたり、学習内容をスライドに自分でまとめたりするなど、思考力や表現力を育む一助とする。</li> <li>・学習問題に対して、自身の予想や考えをノートにまとめる時間を十分に与える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTを活用して、生活経験と学習内容を結び付けるような資料提示を行い、学習問題へつなげる。</li> <li>・主体的な学習が展開できるよう、クラス全員で学習問題を作成する。</li> <li>・学習した内容をまとめて発表する場を設けたり、体験的に学習できる時間を設定したりする。</li> </ul>

